

八戸市民「よく頑張った」

ナインの健闘たたえる

八戸市内の観光施設や公共施設では、7年ぶりの4強入りを目指す八学光星ナ

インを応援しようと、多くの市民や買い物客がテレビの前で声援を送った。結局惜敗したが、観戦した市民からは「粘り強く戦った」「よく頑張った」と活躍をたたえる声が上がった。

同市河原木の八食センターでは、八学光星の攻撃が始まるたびに買い物客が足を止めてテレビ観戦。序盤に1-1と大きくリードされながらも六回に6-6の同点に追いつくと、観衆のボルテージは最高潮に。八学光星のチャンスが来ると拍手や歓声が起こり、勝利を信じて熱戦を見守った。

同市三日町のマチニワには市民約50人が参集。1点差での敗退が決まると、会場からはため息が漏れたが、同時に5年ぶりにベスト8まで勝ち進んだナインに惜しめない拍手が沸き起こった。

八学光星高チアリーディング部の元キャプテンだった八戸学院大2年の岩館琴菜さん(19)は「気持ちは負けていなかった。最後まで粘り強く戦う光星らしい野球をしていた」と後輩の頑張りをたたえていた。

テレビの前でナインに声援を送る買い物客 18日、八戸市河原木の八食センター

(須田山裕太、船渡拓)